

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和8年度 要求額 (千円)	令和8年度 最終査定額 (千円)	頁
選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局	選挙啓発事業	1,203		1

# 令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	選挙啓発事業			事業番号	028-001
担当部署名		局	選挙管理委員会事務局	部	課

## I. 基本情報

### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2030	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
				取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	目標値	—
				取組	—	ターゲット	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
				現状値	—	目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 22 年度	点検対象年度	令和 - 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	公職選挙法第 6 条第 1 項		

### 事業の概要

5	事業の実施主体	市選挙管理委員会、各区選挙管理委員会、堺市明るい選挙推進協議会		
6	事業の対象	全市民（有権者及び将来有権者になる市民）	対象数	単位
			80	万人
7	事業の目的	全市民（有権者及び将来有権者になる市民）の政治や公職の選挙に関する意識の向上や、投票参加意識の向上を図る。		
8	事業内容	<p>投票率向上のため、特に投票率の低い若年層を中心に、重点的に啓発事業を実施。</p> <p>1 若年層（将来有権者になる方）向け啓発</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高等学校、特別支援学校等を対象とした出前授業（常時）</li><li>・明るい選挙啓発ポスターコンクールの実施 募集（5月～9月） 入選作品（堺市分）の審査・決定・賞状等贈呈（9月～10月） 明るい選挙ポスターコンクール入選作品掲載カレンダーを作成・配布（12月）</li><li>・明るい選挙啓発書道作品募集の実施 募集（10月～1月） 入選作品の審査・決定・賞状等贈呈（1月）</li><li>・区民まつりにおけるブース出店（5月・11月） 子ども向けに、選挙キャラクターの「にゃんぱー」と「めいすいくん」等を候補者として模擬投票を実施 啓発パネルを掲示し、選挙の仕組みや親子連れ投票等について周知</li><li>・明るい選挙啓発作品展の開催（2月）</li></ul> <p>2 有権者及び将来有権者になる方向け啓発</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・堺市明るい選挙推進協議会との連携による啓発 明るい選挙リーダーフォーラム（指定都市ブロック）にて、啓発事業について意見交換や情報を収集</li><li>・選挙啓発パネル展（10月～1月）</li></ul> <p>※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載</p>		
9	主な支出先	公益財団法人 明るい選挙推進協会		
10	公民連携・協働事業			

## II. 事業の目標

### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 -
	市民の政治及び選挙に係る意識の向上		目標値				
			実績値				
			達成率				
	当該指標を選定した理由	全市民（有権者及び将来有権者になる方）に、政治及び公職の選挙について高い意識を持っていただき、選挙が公明かつ適正に行われるようにする。					
	目標値の設定根拠・算出方法						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	出前授業の実施回数		目標値	6	6	6	
			実績値	5	5		
			達成率	83%	83%		
	当該指標を選定した理由	18歳から選挙権を有することになるため、その直前である高校生を対象に出前授業をすることが、政治や選挙に興味を持つきっかけとなるとともに意識の向上に効果的と考えたため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和6年度及び令和7年度の実績を考慮し、目標値を設定した。					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	選挙啓発事業	事業番号	028-001
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	935	1,033	1,057	1,203	1,203
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他 ( 明るい選挙推進協会研修会等実施助成金 )		50	74	100	100
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	935	983	983	1,103	1,103		

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源
		公益財団法人 明るい選挙推進協会負担金	R7 予算	400	400	通信運搬費	R7 予算	76	76
			R8 予算	400	400		R8 予算	82	82
		その他報償費	R7 予算	268	268	会場等借上料	R7 予算	72	15
			R8 予算	266	266		R8 予算	84	19
		印刷製本費	R7 予算	170	170	費用弁償	R7 予算	20	0
			R8 予算	168	168		R8 予算	12	0
		保険料	R7 予算	55	55	食糧費	R7 予算	18	18
			R8 予算	65	65		R8 予算	19	19
		消耗品費	R7 予算	57	57	その他 (謝礼金、手数料など)	R7 予算	67	44
			R8 予算	44	44		R8 予算	63	40

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・高等学校等への出前授業、明るい選挙啓発作品展、選挙啓発パネル展の実施 ・区民まつりにおけるブース出店（模擬投票体験、選挙啓発パネルの展示、選挙啓発マグネットの配布（選挙時に使用したボディパネルを再利用）） ・選挙時啓発におけるSNS等の活用
	R8	・高等学校等への出前授業、明るい選挙啓発作品展、選挙啓発パネル展の実施 ・出前授業について、高等学校等へのアプローチの強化、学校のニーズに合わせた出前授業を実施できるよう調整 ・区民まつりにおけるブース出店（模擬投票体験、選挙啓発パネル展示、選挙啓発マグネットの配布（選挙時に使用したボディパネルを再利用））
	R9以降	・出前授業や区民まつりのブース出店について、更なる効果的な手法を検討 ・若年層や子育て世帯に向けて、作品コンクールだけではなく他の手法で事業展開できないか検討

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	・投票率向上に向け、特に投票率の低い若年層を中心に、重点的に啓発事業を実施する。 ・出前授業は、ゼロ予算事業であるが、将来有権者となる若年層に政治や選挙の大切さを伝える確実な手段であるため、非常に重要であり、費用対効果の高い事業であるとする。学校側のニーズに合うことができるように、授業内容も複数用意している。 ・明るい選挙啓発作品展は、子どもが選挙に係る作品を描くことを通じて、家族や友達と選挙の話をする機会につながり、また、子どもの作品を展示する作品展を通じて、親世代へも啓発を実施できると考えるため、必要であるとする。 ・区民まつりにおけるブース出店は、子どもが模擬投票を通じて投票先の選択、投票用紙への記入及び投函を実際に体験することで、選挙に対する興味や関心を持つきっかけになると考える。 ・選挙キャラクター「にゃんばあー」に興味を持ってくれた有権者によるSNSでの発信などが増えており、選挙啓発に繋がる動きが出ているため、今後も「にゃんばあー」の効果的な活用を行っていく。 ・ホームページを親しみやすくすることや広報課・各区のSNSを活用することで、経費を抑えた啓発事業を実施している。
----	---------	--

2